



ボランティアハート

第27号

発行元
坂井市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
発行日 令和2年11月

ーボランティア活動の情報発信をしますー

今回は、福祉教育(※)講師の小林靖幸さんに話を伺ったことを報告します。

(※) 福祉教育 社会福祉課題を教材に学習し、福祉への関心や理解を深めてもらうこと

～ **障がい**は**特別なこと**ではない **正しく知る**ことから始まる ～



春江町総合型地域スポーツクラブユニティブふくい
小林 靖幸さん

ー きっかけ ー

昔から、スポーツをすることが好きでした。大人になり、自分が地域のためにできることはないかと考え、スポーツをとおり、人と人とがつながることや、障がいについて地域のみなさんや次世代を担う子どもたちに伝えていきたいと思い活動を始めました。

ー 活動内容 ー

ユニバーサルスポーツ(※)の啓発。障がいを、地域のみなさん、子どもたちに伝えていくことです。

車いすサッカー、ボッチャ、卓球バレー、フライングディスク等を指導します。

(※) ユニバーサルスポーツ

子ども、高齢者、障がいの有無にかかわらず一緒にできるスポーツ

ー 今後チャレンジしたいこと！ ー

今まで以上に、地域のみなさまに、ユニバーサルスポーツを体験してもらい、スポーツの魅力と障がいについて理解してもらいたいです。

思いやりの心、人と人とがつながる喜びを伝えていきたいです。

『新型コロナウイルス感染防止に配慮したボランティア活動の進め方』について

活動時の留意点が掲載してある冊子があります。詳細は下記をご覧ください。

坂井市社協ホームページ <http://www.sakaicityshakyo.jp/volunteer/>

福

祉教育

育

推進中

中

私のまちのボランティア

<坂井町> 読み聞かせボランティア

『どの子にも、どの世代にも』

コロナ禍の今は、マスクをしたまま読み聞かせをし、参加人数を制限するなど、感染防止対策をとりながら活動しています。

9月は、障がいのある子ども、0歳～2歳の子どもとお母さんに対し、パネルシアターやペープサート（人形劇）や大型絵本等でお話を開催しました。

また、小学生から高齢者までの広い世代に向け『坂井町の民話（東十郷用水、お早良作、まつや地蔵等）』を語っています。

問合せ先 ☎090-2831-0466（西山）



<三国町> 母子あすなろ会

会員相互の親睦を図り、母子・寡婦家庭の生活の安定、ひとり親家庭支援事業として低学年から学習意欲を持たせる為、学習支援ボランティアによる学習会を月2回開催など、子どもの健全育成と自立を促す活動をしています。

★三国会場の学習会参加者募集中★

問合せ先 ☎080-4412-3705（市母連）



<春江町> 友（ゆう）サークル

私たち、「友」サークルは令和2年1月に高齢者の「通いの場」が「あったらいいな」を活動目的で結成しました。能力や機能維持、生きがいや健康づくりに私たちができる地域の福祉活動をしていきたいと思っています。現在は、コロナ禍のなか活動はなかなか難しいですが各メンバーがボランティア活動や研修、講座を受講して日々研鑽に励んでいます。

「友」サークルはるえ支部 井上



<丸岡町>

点訳ボランティア 楽点（らくてん）の会

点訳とは、文字を点字に翻訳することです。これまでは、点字をよく学習して熟知した目の見える人（晴眼者）が、活字や手書きの資料（墨字）を目で追いながら1文字ずつ点字に翻訳していく作業でしたが、今では、技術が進歩し、かなりの部分を自動化できるようになりました。

「楽点の会」は平成9年に発足し、今年で23年。現在11名のメンバーで活動しています。

活動は主に、月刊誌「Voice、本の窓、文藝春秋、番傘」などの点訳で、点訳ソフトを使って文章の入力を行っています。また、小・中学校からの依頼を受け、点字体験学習の指導も行っています。



【撮影日:2017/10/07】

坂井市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

問合せ先	本部・さかい支部	〒919-0521 坂井市坂井町下新庄 18-3-1	TEL 67-0699 / FAX 67-2807
	みくに支部	〒913-0021 坂井市三国町楽円 53-16-1	TEL 82-1170 / FAX 82-1593
	まるおか支部	〒910-0242 坂井市丸岡町西里丸岡 12-21-1	TEL 68-5060 / FAX 67-2950
	はるえ支部	〒919-0412 坂井市春江町江留中 10-15-1	TEL 51-4545 / FAX 51-6269